

分からなかったら、教科書で答えや解き方を探すという習慣をつけたい
～教育実習生研究授業事後研での意見交流から～

○ 教科書の問題を学習課題として取りあげた

教科書には、「 $83 \div 17$ 」を例にして、解き方が掲載されている。本時の学習課題の一つに、「 $83 \div 17$ 」を取りあげた。教科書を見て解いている児童がいた。教科書を見ながら解くことは悪いことではない。しかし、教科書と同じ問題を、教科書を見ながら解くと、理解した気になってしまわないだろうか。

○ 教科書を閉じさせて、取り組ませてはどうか、という意見

教科書を閉じて取り組ませるという方法もある。しかし、授業中でも教科書を活用したい。分からない時は、教科書にヒントを見つけるという習慣をつけさせたいからである。このことは、今後の学習に活かされていく。教科書から学ぶということは大切である。

家庭学習で問題に取り組み、答えが分からなければ、教科書で答えや解き方を探すことになる。この行為そのものが学習である。授業中でも同様である。それならば、教科書を閉じさせて取り組まない方がよい。

分からなかったら、教科書で答えや解き方を探すという習慣をぜひ身につけさせたい。

○ 教科書とは少し違う学習課題を用意する 例 「 $74 \div 18$ 」

そのためには、教科書と少し違う学習課題を用意すればよい。本時の授業で言えば、例えば、 $74 \div 18$ である。

「分からない人は教科書を見てもいいよ」とか、「教科書にヒントがあるかも」とかいった指示があってもよい。これは、まさしく「教科書を教えるのではなく、教科書で教える」である。